



ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI プログラム概要

課題番号	19HT0218	分野	自然・生活	キーワード	染織刺繍、民族衣装
研究機関名	大分大学				
プログラム名	染色と刺繍を体験して、アジアの民族衣装を着てみよう！				
先生(代表者)	都甲 由紀子(とごう ゆきこ)・教育学部・准教授				
自己紹介	<p>教員養成課程で被服学の研究・教育を担当しています。</p> <p>浴衣を縫ったり、染色や繊維に関わる実験をしたりする実習の授業もしています。専門は染色化学で、天然染料による染色の研究をしていて、ブータン・雲南省・ミャンマーなどの染織や刺繍の現地調査もしています。</p>				
開催日時・募集対象	令和元年(2019年)12月8日(日)	受講対象者	中学生・高校生	募集人数	20名
集合場所・時間	大分大学教育学部 被服実習室		(集合時間)	9:00受付 9:30開始	
開催会場	大分大学 旦野原キャンパス 教育学部3階被服実習室 住所: 〒870-1192 大分県大分市大字旦野原 700 番地 アクセスマップ: http://www.oita-u.ac.jp/category/dannoharu_map.html				
内 容					
<p>ふだんから誇り高く民族衣装を着て生活している人たちがブータンや雲南省、ミャンマーにいます。独特の民族衣装はどのようにして作られていると思いますか？</p> <p>それぞれ独自の染織刺繍技術を持っているのです。ブータンではラック色素やインドアカネといった天然染料で赤色系の糸を染めます。手織りで複雑な模様を入れたりもします。雲南省では少数民族の女性たちが様々な方法で刺繍をします。</p> <p>このプログラムでは、雲南省での研究の代表者である朝比奈はるか先生、ブータン刺繍作家の菊池多絵先生もお招きして、みんなで染色や刺繍の実習をして、私たちの研究内容について紹介します。</p>					
スケジュール				持 ち 物	
9:00- 9:30 受付(教育学部3階被服実習室 集合)				筆記用具	
9:30- 9:50 開講式(挨拶、自己紹介、1日のスケジュール確認)				ハンカチタオル	
9:50-10:20 講義(染色材料の植物や動物、染色科学研究の魅力)					
10:20-10:30 休憩					
10:30-12:00 染色実習(ラック・茜による刺繍糸とポケットチーフの染色)				特 記 事 項	
12:00-13:00 昼食				実習の材料や道具はこちらで用意します。	
13:00-14:30 刺繍の実習(染色した刺繍糸を使った刺繍)				染色をするので汚れても構わない動きやすい服装で来てください。	
14:30-15:00 ティータイム(参加者の交流、中国の茶文化紹介、民族衣装装着実演)					
15:00-15:45 講義(照葉樹林文化圏のフィールド調査と広域研究)					
15:45-16:00 休憩					
16:00-16:15 講義(研究職の仕事、科研費の説明)					

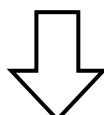
16:15-16:30 修了式(アンケート記入、未来博士号授与)	
16:30 終了・解散	

《お問合せ・お申込先》

所属・氏名：	大分大学研究・社会連携部研究・社会連携課／後藤 史彦(ごとう ふみひこ)
住所：	〒870-1192 大分県大分市大字旦野原 700 番地
TEL 番号：	097-554-7378
FAX 番号：	097-554-8557
E-mail：	kaken1@oita-u.ac.jp
申込締切日：	令和元年(2019年)11月27日(水)
※当プログラムは先着順にて受付を行います。	

《プログラムと関係する先生(実施代表者)の科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
都甲由紀子	平成 25-28 年度	若手研究 (B)	25870561	ブータンにおける衣生活文化の保護と衣服材料生産に関する伝統知識の解明



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。